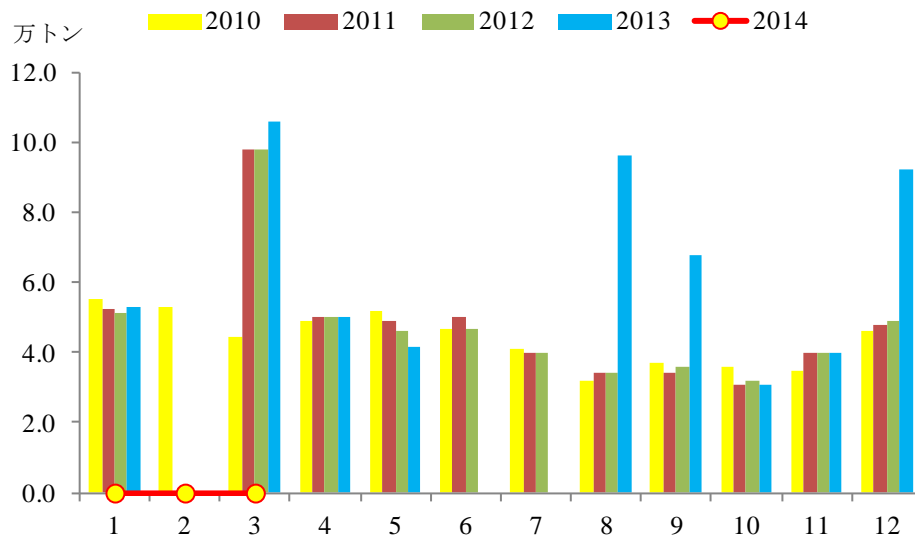


2014年第1四半期中朝エネルギー資源貿易動向

中国税関統計によると、2014年1~3月の中国の対北朝鮮貿易額は12.7億ドルで、前年同期比マイナス2.8%であった。また、1~3月の中国の対北朝鮮輸出額は6.7億ドルであり、2013年同期の7.2億ドル、2012年同期の8億ドルと比べると減少した。一方、1~3月の北朝鮮からの輸入額は6.1億ドルであり、2013年同期の5.9億ドル、2012年同期の5.7億ドルよりも増加した。

	貿易額 (百万ドル)			対前年比
	2012	2013	2014	14/13
輸出	800	721	667	-7.4
輸入	567	588	605	2.8
輸出入	1,367	1,309	1,272.3	-2.8

特に注目されるのは、中国の対北朝鮮輸出品目中、1~3月の原油輸出が停止したことである。1995年以降の貿易統計を見る限り、原油輸出が3ヵ月も連続で停止されたことは初めてのケースになる。原油輸出が停止されたのは、原油パイプラインの保守作業や事故などに起因するのか、それとも中国の北朝鮮に対する一種の制裁乃至は圧力といった政治的背景があるのか、現時点では判断を下すことは出来ない。今後の動向をさらに見守る必要がある。



また、中国から北朝鮮への石油製品類の輸出を見ると、1~3月のジェット燃料（灯油）の輸出は1.3万トンであり、2013年同期の169トンより大幅に増加した。ガソリンの輸出は1.5万トン、ディーゼルの輸出は534トンであり、2013年同期と比べるといずれも減少した。

2014年現在、中国の石油精製能力は過剰状態にあり、石油企業は石油製品の輸出を拡大しているのにも関わらず、なぜ北朝鮮への輸出が減少しているかは不可解である。

他方、中国の対北朝鮮輸入品目を見ると、1～3月の石炭（無煙炭）の輸入は346万トンであり、2013年同期の328万トンと比べ微増となった。また、鉄鉱石の輸入も若干増加した。

以上、2014年1～3月の中朝貿易動向を全体的に見ると、中国は対北朝鮮輸出を抑えている可能性もあると考えられる。一方、北朝鮮は外貨を獲得するために、鉱物資源の対中輸出を引き続き拡大している模様である。

（エイジウム研究所 首席研究員 張 継偉）

Asiam Research Institute <http://www.asiam.co.jp/>